

現場レポート

各地で海事産業見学会を実施
～海事産業の将来を担う人材育成に向けて～

◆[11月11日及び17日]津久見市の中学1年生

11月11日及び17日、公益社団法人九州海事広報協会と大分運輸支局の共催で、津久見市において市内の中学1年生92名を対象とした海事産業見学会を開催しました。地元業界団体及び大分県立海洋科学高等学校の生徒、日本船主協会等が講師となり、津久見市の海の仕事や大分県立海洋科学高等学校に関する紹介、日本の海運に関して等の出前講座を行いました。その後津久見湾内を運航する遊覧船に乗船し地元業界団体による解説のもと海上から津久見港内の海事産業施設や船舶の荷役風景を間近で見学しました。参加した生徒からは、普段陸上からは見慣れた光景でも海上からみる機会はないので大変参考となり、船の種類の多さや海運の重要性が分かった。地元の海事産業を大切にしていきたい。などといった感想がありました。



関係業界団体等による出前講座



旅客船に乗船して津久見港内の見学



旅客船の前で集合写真